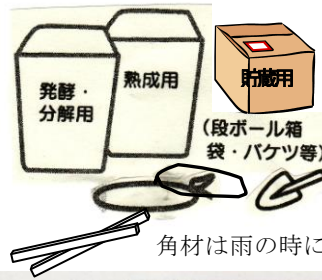




森のしくみ (腐葉土を利用した) の生ゴミ堆肥のつくりかた

《用意するもの》... 家庭の標準量で

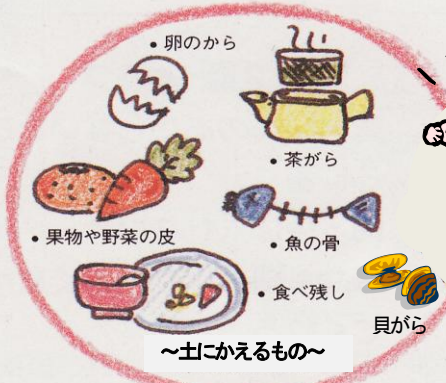
- ・バケツ (30~40リットル)... 2個
- ・段ボール箱... 1つ
- ・腐葉土 50リットル
- ・布 (古いのシャツなど何でも) 2枚
- ・シャベル、ゴムひも 2本、角材 2本



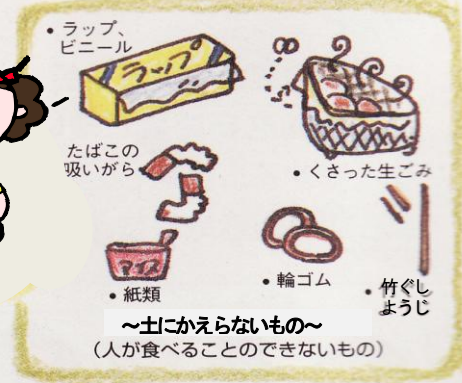
★腐葉土は、新聞紙に広げてふわふわになるまで乾燥させる。



堆肥にできるもの



堆肥にできないもの



《やり方》

<p>① バケツに腐葉土を 5~10 cm 入れる。</p> <p>② 生ゴミは水を含まないように分けておき、大きいものはハサミでできる。</p> <p>手でちぎっても、そのままでもいいが、細かいほど早く分解します</p> <p>生ゴミは、新しいものでね。</p>	<p>③ 生ゴミを入れて、下までかき混ぜる。</p> <p>底に腐葉土を5~10cm入れる</p>	<p>④ 生ゴミと同じくらいの量の腐葉土を上のにせる。</p> <p>腐葉土 生ゴミ+腐葉土</p>
<p>⑤ 虫よけの布をかぶせ、ゴムで留めておく</p> <p>発酵・分解バケツ</p> <p>これ、絶対おれね!</p>	<p>⑥ バケツがいっぱいになるまで、②~⑤をくり返す。(1か月前後)</p> <p>※バケツの大きさ、生ゴミの量によって、いっぱいになるのは違ってきます。</p>	<p>⑦ バケツがいっぱいになったら、別のバケツに移し替え、熟成させる。</p> <p>発酵・分解バケツ 熟成バケツ</p> <p>再び発酵・分解用バケツとして使う</p>
<p>⑧ 熟成バケツは同じように布をかぶせて寝かせる (途中1, 2回かきまぜる)</p> <p>熟成バケツ</p> <p>空いたバケツ (発酵バケツ) は①~⑥を行う</p>	<p>⑨ 熟成したら (夏 15 日、冬 40 日くらい) 新聞紙の上に広げ、サラサラになるまでお日さまで乾かす。</p>	<p>⑩ 乾いた堆肥は、別の入れ物 (段ボール箱など) に入れて保管する。これを 3 回目以降の発酵・分解に使う。</p> <p>できた、できたー!</p> <p>次、またチャレンジしてね!</p>